

秋高同窓会だより

発行者 秋田県立秋田高等学校同窓会
秋田市手形字中台1番地
TEL 018(832)9553
印刷 武内印刷株式会社

題字は辻兵吉会長



- (2面) ポラリス 北 嶋 正
- (5面) 記念講演 三 木 彬 生
- (6面) 恩師訪問 佐 藤 英 先生
- (12面) 新年随想 安 田 典 夫

総会・役員会・理事会
会員名簿39号発行について
つどい
部活動の記録



中国の高校生が秋田高校を訪問。同窓会館資料室にてハイポーズ

人生には慶事と呼ばれる事があります。誕生日、入学、七五三、成人、還暦、古希などいろいろです。それらたくさんある中で、一番大きな慶事としてあげられるのがたぶん結婚式です。他の慶事はすべて個人に属するものですが、結婚式だけは個人に属しながらも相手があり、その先に相手の親があり、こちらの親もあり、さらに様々な人間関係が連なっています。個人の慶事でありながら、もともと社会性を帯びているのが結婚式です。だから大勢の人をお招きし、お祝い事とすれば一番大きな慶事になるわけです。

ポラリス Polaris

そんな結婚式ですが、近年その中味に大変大きな変化が起きました。わたしは結婚式の経営に携わって三十三年になりますので、たくさんさんの結婚式に接してきましたが、そのことを痛切に感じています。物事が変化する裏には、必ずそれを引き起こす内的な要因が潜んでいます。それは世の中全体の動きと無関係ではありません。結婚式の事情から今の世情を推し計ることも出来るはずですが、



いまどきの

結婚式から

見る世情

北 嶋 正 (昭和41年卒)
株式会社 イヤタカ代表取締役社長

結婚式で一番の変化は、高砂に座るお仲間さんがいなくなったことです。わたしがその変化を象徴させるような出来事に行き逢ったのは、十年と少し前のことでした。若いカップルとその両親を交えた打合せの席で、若い二人が、「仲人を頼みたくない」と言い出したのです。若者はいつの時代でも自分たちの都合から意見を発するのは不思議ではありません。しかし、それ

た。そんなエピソードがあった数年後には、仲人の姿はほとんど消えておりました。わたしは親の変化が結婚式のスタイルを劇的に変えた一番の要因だと信じています。ちょうど戦後育ち、戦後生まれの世代が結婚式に親として登場する時期と、それは見事なほど重なります。戦後世代に共通の価値観は、民主主義とそれを支える個人意識の尊重です。結婚式は、ますます個に向かっています。二人らしい結婚式、オリジナルな結婚式、といううたい文句で、私ども式場側もそうした傾向に答えます。個をベースにすると、それまでの社会通念や因習、そして自分の意から外れる人間関係など、全てが面倒くさく、うつつうしいものを感じてしまします。自分が主ですから、自分の好みこそが大事になります。本来社会性のあった結婚式が、個性表現の名のもとに、ますます多種多様、趣味趣向化に向かいつつあります。そんな傾向がいかにか悪いとかではありませんが、戦前のような国への帰属強要は論外ですが、自分の親や故郷、学んだ学校などへの愛着や帰属意識まで薄くなるようでは、逆に個の確立も遠ざかってしまいうのではないかと懸念してしまします。人間は誰でも自分の意思を超えたものに規定される部分がある存在です。その自覚があつてはじめて個が芽生えるはずですが、

いまどきの結婚式の現状に接していて、根の生えていない個人意識だけが漂う世情を感じて、少し心配してしまします。

秋高生なら誰もが一度は憧れる東京大学では、年収が約四百万円未満の家庭の子女であれば誰でも授業料(年額五万五千円)を全額免除する制度をこの四月からスタートさせる。これまで国が実施してきた減免制度に加え、新たに東大独自の財源で免除枠を拡大したものである。▼しかし、大学の独立行政法人化以来、旧帝大など一部の「金持ち」大学を除き、地方の大学を中心に多くの大学は、東大のような独自の財源や財力を有しているわけではない。また、もともと国立より低水準にある私立大学の学費免除制度は、改善の方向すら見られないままである。▼昨今、さまざまな分野で格差が拡大し、社会全体の劣化が憂慮され始めている。教育界もその例外ではなく、「大学難民」「教育難民」が着実に増加しつつある。中でも私立大学では、毎年一人を越える学生が経済的理由で学窓を去っていくとも報道されている。▼「すべて国民は、……その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」と謳っている憲法第二六条の精神を改めて思い起こしてみる必要があるであろう。

天上天下

約六千人が会費納入 通常総会に百二十人出席

平成十九年度の通常総会は、平成十九年八月十九日(日)午後二時より秋田市のシャインプラザ平安閣において、県内外から約百二十名の会員が出席して開催された。会は柳沼真一氏(昭和四十二年卒)の司会で進められた。

最初に校歌を五番まで斉唱し、その後、物故会員に全員で黙祷を捧げた。次いで、次第に従って総会は進められたが、概要は次の通りである。

◎辻兵吉会長挨拶

四年前に丸山会長の後を引き継いだ。百二十周年を期に前会長が、会費を会員全員から年二千円徴収する方法に大転換した。それまで役員の皆さんに多大のご負担をおかけし、卒業生の皆さんからの入会金で運営していた。現在約六千人の方から会費を頂戴し、なんとか順調に運営でき感謝している。

今年は三と四のつく年度の方にお世話いただき、スイカという面白いものを開発された三十四年卒の三木彬生氏に



ご講演(要旨五面に)をお願いしている。

また文科省の事務次官に銭谷眞美君(昭四十三年卒)が就任され、大事な若い人を育てる仕事で活躍してくれるものと期待している。

今日は同窓会の今年度の活動方針をきめる大事な総会なので重要事項を慎重審議いただきたい。

学校の方も文武両道で百三十四年経た。今年はずしもよくいったと言いたいように

だが、少子高齢化の時代に優秀な生徒が入り、卒業していると申し添えて挨拶とする。

◎柴田義弘校長挨拶

本校は文武両道を旗印にし、しかも分業でなく同じ生徒が武もし、難関校にもという点からいえば、秋高は間違いなくベストテンに入ると思う。今回の佐賀のインターハイでは卓球、山岳、フェンシング、柔道など活躍した。その諸君はほとんど若すぎ団体の選手になる。そこでも秋高の名を背負って頑張ってくれると思う。野球は決勝まで行きながら今一步というところで及ばなかった。会長にも、またちようど秋田においての文科省の銭谷事務次官にも

朗報を伝えられず残念だった。銭谷さんは文科省の業務をしつかりしながら、母校が文武両道を掛け値なくしているということを誇りに思っておられると思う。本校からいいニュースを発信することが諸先輩に元気を与えるのではと考え、来年に花咲く仕込みをしたい。体育館の耐震診断で低い数値が出、改修改築の要ありとされた。昭和三十六年に建って

から四十数年になる。今度の議会などで改築の案が出ると思うが、秋高は体育館二つだけではなく講堂もあるべきと考えている。文武両道に試練の時になるが、逆風の時にもちゃんとやっていければ結果が出るという方向にルールを作っていく方向に思う。諸先輩のご支援をお願いしたい。

挨拶に次いで議長選出が行われたが、慣例により会長が議長となり会が進められた。

◎会務事業報告

最初に仙波昭彦事務局長から資料に基づいて会務事業報告が行われ、次いで常置委員報告では、企画・佐々木博良、財務・速水洋子、名簿・工藤雄一、広報・高島清子の各委員長からそれぞれに関する事項の報告がなされた。

◎議事

最初に平成十八年度収支決算について事務局長よりの説明に続き、小玉監事より監査報告がなされ、審議承認された。次いで平成十九年度事業計画・収支予算(案)が提案され、これも審議承認された。引き続き質疑要望が出され、それぞれの部門で検討されることとなり、議事は終了した。総会終了後、記念講演、懇親会が和やかに行われた。

又井歯科クリニック

院長 又井庸生 (昭和54年卒)

診察時間 月・火・木・金 9:30~19:30
水 9:30~13:00
土 9:30~18:00
(受付は30分前まで)

〒011-0948 秋田市飯島西袋二丁目16番1号
電話 018-846-8877

内科・外科・胃腸科・肛門科

曾根医院

院長 曾根純之 (昭和54年卒)
智雅子 (昭和61年卒)

〒013-0502 横手市大森町榊形字西神成7-2
TEL 0182-56-4111

一、三〇〇年の歴史の丘
秋田城跡鎮座

秋田県護国神社

稱 眞 面山浩康 (昭和五十四年卒)

秋田市寺内大畑五十一
電話 〇一八八四一〇三三七
FAX 〇一八八四一〇三三四

native space consulting

屋外環境施設 設計・施工

株式会社ネイティブ・スペース

代表取締役 佐藤公之 (昭和54年卒)

native-space@cpost.plala.or.jp
〒011-0935 秋田市将軍野向山5-13
TEL 018-838-6232 FAX 018-838-6233

住所判明者20,612人 役員会で名簿委報告

第二回役員会は、平成十九年十一月十二日(月)午後五時から、秋田市のシャインプラザ平安閣において開催された。出席者は辻兵吉会長以下副会長、監事、参与、常置委員、常置委員長、事務局局長、事務局の十四名であった。

辻会長、校長の挨拶に続き、報告があった。最初に事務局から会務事業報告および本年度後期事業日程について説明があった。

続いての報告は各常置委員会からだったが、概要は次のようなものであった。

◎企画委員会
後期行事予定・当番年次の確認(昭和三十三年から平成元年)・同窓会入会式について
当番年次会議
入会式の運営と激励者の選考(激励者は交渉中)・「同窓会だより」の協賛広告について

◎財政委員会
後期行事予定・平成十九年度会計中間報告・平成二十年度一般会計予算(案)・その他(会費納入改善策・委員の補充)について

◎名簿委員会
名簿の状況(住所判明者二万六千六百十二名、判明率七一・二%)・会員名簿三十九号発行(作成タイムテーブルの確認、会員データカードの内容検討・決定、予約頒価は三千八百八十円、入札方法等の検討)・旧名簿の処分経過報告(五百冊は溶解処分、残部は十五冊)について

◎広報委員会
「同窓会だより」第八十二号の発行は平成二十年一月十五日(十六頁)・記載記事・担当者等について・「だより」の発送は八十一号から折らずにする方法に変えた。

続いて議事に入った。最初

七十一人が出席し 第二回理事会開く

十九年度第二回理事会は、十二月三日、秋田市のイヤタカで七十一人が出席して開かれた。

辻会長が「柴田義弘校長が

文部科学省から教育功労章を受けた。同窓会は、協力の協賛に運営されている」などの挨拶に続いて、事務局からの会務事業報告、本年度後期事業日程についての説明があった。

各常置委員会報告では、企画委員会から、来年二月一日に行われる同窓会入会式の激励の言葉は、弁護士赤坂薫さん(昭和六十三年卒)が述べることに決まった。財政委員会からは、今年度の会費納入額は、現在一千七十六万円で、年度内には目標の一千二百万円を達成できそうだ。名簿委員会は、会員名簿三十九号の来年九月発行に向け、作業は順調に進んでいる。個人情報保護法も考慮し、同窓生すべて

平成19年度一般会計予算

(収入の部) (平成19年4月1日 単位:円)

科 目	18年度予算額	19年度予算額	比 較		摘 要
			増	減	
1. 入 会 金	2,304,000	2,311,200	7,200		新入会員321人×7,200円
2. 会 費	12,000,000	12,000,000			延べ6,000人×2,000円
3. 協賛広告費	400,000	400,000			40コマ
4. 基金運用収入	3,023	33,233	30,210		基金預金利息
5. 寄 付 金	10,000	10,000			
6. 会議収入	1,000,000	900,000		100,000	総会・理事会懇親会費
7. 雑 収 入	10,000	10,000			預金利息など
8. 繰 越 金	3,557,525	3,632,025	74,500		前年度より繰越
合 計	19,284,548	19,296,458	11,910		

(支出の部)

科 目	18年度予算額	19年度予算額	比 較		摘 要
			増	減	
1. 事 業 費	8,390,000	8,360,000		30,000	年2回発行費・印刷代・送料・封筒・宛名ラベルなど
だより発行費	5,900,000	5,100,000		800,000	運動部助成費など
母校協力費	1,000,000	1,000,000			記念品代・茶・講師謝礼・案内状など
新入会員歓迎費	600,000	600,000			若年次同期会通信費・会議費補助など
年次強化費	220,000	620,000	400,000		事務局備品・環境整備など
事務局整備費	250,000	220,000		30,000	事務局備品・写真・額・建物維持管理など
資料館整備費	420,000	820,000	400,000		
2. 会 議 費	4,020,000	4,020,000			総会資料・講演謝礼・当番年次打合せ
総 会 費	1,000,000	1,000,000			役員会・理事会
役 員 会 費	900,000	900,000			常置委員会・常置委員委員会・HP委員会・延12回
委 員 会 費	420,000	420,000			支部総会出席旅費・寸志など
支 部 関 係 費	1,700,000	1,700,000			
3. 事 務 費	5,290,000	5,320,000	30,000		事務局職員2名分・アルバイト賃金
給料・手当	2,780,000	2,780,000			郵便・印刷・送料・ガス・水道・電気・電話など
消 耗 品 費	230,000	260,000	30,000		封筒・払込取扱票・私製葉書など
印 刷 費	320,000	320,000			電話・録音機・電話ファクス・録音機・コピー機など
通 信 費	440,000	440,000			会費他払込手数料・広告料
手数料及広告料	760,000	760,000			機器整備修理・バージョンアップ・HP管理など
機 器 運 営 費	760,000	760,000			
4. 基 金	1,000,000	1,000,000			
同窓会基金	1,000,000	1,000,000			
5. 雑 費	300,000	300,000			祝電・弔電・祝金・慰労金など
慶 弔 費	200,000	200,000			タクシー代など
雑 費	100,000	100,000			
6. 退 職 金 積 立	180,000	180,000			事務局職員2名分
退 職 金 積 立	180,000	180,000			
7. 予 備 費	104,548	116,458	11,910		
予 備 費	104,548	116,458	11,910		
合 計	19,284,548	19,296,458	11,910		

に平成十九年度の一般会計、基金会計、名簿会計、退職金積立会計のそれぞれについての收支中間報告があった。

次に同窓会運営上の諸問題が話し合われ、会は閉じられた。

東京にて 就職相談会 & Aターンの相談会開催

「機械金属製造業」「清酒製造業」の求人情報の提供とAターンの登録の受付。
全職種のアターン就職をはじめとした定住に関する各種相談等を実施します。

◎日時: 2月1日(金)17:30~21:00 2月2日(土)10:00~15:00
◎場所: アルカディア市ヶ谷 TEL: 03-3261-9921
東京都千代田区九段北4-2-25(UR・地下鉄「市ヶ谷駅」すぐ)

秋田県中小企業団体中央会 事務局 齊藤 信郷 (昭和44年卒)
担当: 長谷川 保保 TEL 018-863-8701 FAX 018-865-1009

※企業との面接会はありません。お気軽にお問い合わせください!!!
Aターンとは・・・秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称です

居酒屋 ひのくるま
秋田市山王六丁目2-10 大丸ビル
TEL 018-862-8681

東京海上日動火災保険代理店
佐藤 誠 保険サービス

秋田市外旭川字小谷地139-4
佐藤 誠 (昭和53年卒)
TEL 018-868-6720

に名前を名簿に載せてよいかの確認カードを送付することになっている。広報委からは、前号から「同窓会だより」を折らないで発送、好評だ、などの報告があった。

最後に、平成十九年度会計の中間報告があった。

講演要旨

ICカード切符開発の裏ばなし

神奈川臨海鉄道
常務取締役

三木 彬生 氏 (昭和34年卒)

JRのスイカ開発に携わったとして、二〇〇五年秋にNHKのプロジェクトXに出演した。きょうは、同番組の制作の裏話を中心に、話してみたい。

スイカは、二〇〇一年十一月の発売以来、直線的に売り上げを伸ばし、今年の六月末現在で二千二百二十一万枚を売り上げている。

機能は、プリペイド（前払いで、そのまま切符として自動改札を通過できる）カードのイオカードを、ケースに入れたまま改札を通れるようにした無記名の「スイカイオ」と、記名式定期券の「スイカ定期」の二種類である。

後者は予めお金を入れておくと、定期区間を乗り越した場合同様精算が自動化されるので、どこでも自由に降りることができる。紛失した場合でも未使用残金も含めて再発行される。

電子マネー機能は、平成四年から始まり、現在では二万



【略歴】 昭和34年秋田高校卒、東京大学工学部計数工学科卒、東京大学大学院数物系研究科計数工学専修博士課程修了工学博士、日本国有鉄道入社、同鉄道技術研究所、(財)鉄道総合技術研究所、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東日本情報システム、日本貨物鉄道株式会社、神奈川臨海鉄道(常務取締役)

近い店舗で利用が可能になっている。

約二〇分「プロジェクトX」のダイジェスト版放映NHKからプロジェクトX取材の話がきたのは四月ころだった。最初の取材後、しばらくは内容の事実関係を含め、放映に値するかの調査・判断

をしていたらしい。

夏になって「放映が決まったので、再度取材する」と言ってきた。

ストーリーは、最後にスタジオ出演する時に初めて知ることになり「ええっ」と思うことも結構あったが、その時は修正の効かないぐらい完成度が高まっていたので、まあ仕方がないかという気にされてしまった。

典型的なのが、発言そのものは確かにその通りなのだが

「前後の場面が違う」というもの。例えばソニーが開発を中止し、その再開の要因が香港の商談であったというのは事実ではない。再開決定は香港以前に、ソニーの経営判断で行われた。

その他、確約書事件、注射器による電解液注入、タッチアンドゴーの議論などいろいろあるが「嘘とは言えないが場面や登場人物が異なっている」ことが多くあった。

そういう点はあるものの、根本が登場者を善意で扱ってくれているだけに、文句も言いくいし、逆にこの場で、こんな裏話ができる

ネタにもなっている。

最後に、スイカは「なぜ成功したか」と聞かれるが①利用者にとって便利な自動化であった②データが絶対に壊れない仕組みをつけた③JR専用定期の利用者四百万人を、最初から顧客として期待できた④担当者の士気一の四項目である。そして最後には「ラッキーの積み重ねだった」というのが今の本音である。

平成19年度 芸術鑑賞教室

今年度の秋田高校芸術鑑賞教室は、十月十七日(水)に秋田県民会館において、オーケストラの公演Ⅱ写真Ⅱが行われた。



県内音楽担当先生による

弦楽器と管楽器のオーケストラ公演

本校出身者が大勢参加

にとつては、またとない機会であった。メンバーには秋田高校出身者がずらりと顔を並べ、ピアノ協奏曲を熱演した大谷祥子さんを

はじめ、コントラバス奏者に本校の松田聡教諭(英語)や多くのOB・OGが協力してくれた。

今回の企画で生徒にもっとも人気があったのは、「指揮者コーナー」で、生徒六名と柴田校長による「運命」への挑戦であったと思う。指揮者が変われば音もテンポも変わり、様子が一変する事を体験した。ベートーベンのピアノ協奏曲第3番も大谷さんの鮮烈な美しい音楽が生徒を引きつけ人気が高かった。本校の校歌がオーケストラで演奏され、いつものサウンドとは違ったすがすがしい「校歌」は生徒の心をとらえた。

レクチャーは指揮者で本校の川口教諭が行い、感動的な全員合唱「大地讃頌」などもあり、大変意義深い演奏会となった。

恩 師 訪 問

佐 藤

英 先 生



母校で勤務された方の近況をお伝えする「恩師訪問」。第九回目の今回は養護教諭の佐藤英先生。十一月六日(火)、同窓会館にお越しいただき、広報委員・植静子(平4年卒)がお話をうかがった。

秋田高校に勤務された時期と当時の保健室の様子をお聞かせください。

平成元年から七年までの七年間勤務して退職しました。

当時は秋高も十クラスあり、生徒数の一番多い時期だったのではないかと思います。保健室は当時から生徒の休養の場として、入れ替わり立ち代わり、息切れして疲れた様子の生徒がやってきては、ふうつと一息ついて元気になって戻っていききました。秋高生は優等生として過ごしてきた生徒も多く、息が続かなくなる時があるのですよね。でもホッと一息ついてがんばる力を蓄えたら、また復活していく、自分自身で調整する力があつたと思います。あまりメンバーが固定化しているという感じもなかったですね。ただ少しづつ、学校には来ても教室には行けないなど、不登校のはしりのような生徒も出

てきていました。秋高にいらつしやつたときが一番印象に残っていることを教えてください。

海外でボランティア活動

先生は職員会議で考査などの別室受験の必要性を訴えたとお聞きしましたが。

不登校という言葉が出始めた頃だったでしょうか。やつとの思いで登校しても、教室にはなかなか足が向かない生徒もおり、それでも学校に来られたことをよしとして、登校できる力を伸ばしていければと強く思いました。教室に入れなくても、テストを受ける機会を与えたいと思ったのです。職員会議の場で先生方にお話をし、そういう機会

上司と意見が合わず、悩んでいたことですね。当時校長が保健室の前に仁王立ちして、授業中に保健室にやってくる生徒を追い払うということがありました。生徒は何かしら用事があつて保健室に来ます。話を聞いて今すぐ処置が必要なのか、また後で出直すように指示するのか、判断するのは私なのに、校長はそれも聞かず、生徒を寄せ付けないようにしていました。そもそも元気なときには保健室には来ません。元気を保てないからやつて来るのに、その保健室の存在意義を理解してもらえず、とてももどかしい思いを

しました。保健室は開かれた場でなければならぬと直接教育論を戦わせたこともあり、先生、校長とけんかしたつてかと喜んで様子をうかがいに来たものでした。健康はきわめて個人的なことであり、周りにはわからぬ判断するものではありません。自分自身の判断で保健室を利用すべきです。かえつて生徒のほうが保健室の在りようを理解し活用していたように思います。

で旦那さんを亡くした女性が生活していくための手段として活用できるようにミシンの使い方を教えたり、幼稚園の環境整備や医務室のお手伝いをしたりしています。先日は仏教のお坊さんたちに看護役として同行して、インドの仏教の発祥の地などをめぐる貴重な旅もしてきました。海外ボランティアに加えて、今は週に二回、近所にある障害者の作業所にお手伝いに行つています。明日はその作業所の遠足に一緒に行きます。みんな楽しみにしているんですよ。

退職後のために前もつて準備しておくべきだと友達にも言われていたけれど、私は器用ではないので、仕事はめいつぱいして、区切りをつけたから、一年間はゆつくりしました。

その後は、海外ボランティアで旧ユーゴスラビアの難民キャンプなどに出掛け、紛争

若者は海外に目向けよう

最後に現秋高生・元秋高生へメッセージをお願いします。

若いうちにどんな海外にも目を向けて、小さくま

もあつたけれど、目を閉じるときにいい人生だったと思えばいいなと思えますよね。私は今自分の人生を振り返つてもいい人生だったなと思えるから、幸せですよ。

変わらなずお元気で、とても素敵な英先生でした。

「確認カード返送を」

名簿委員長 工藤雄一

母校が、創立百三十五周年を迎える平成二十年九月、五年に一度発行することが決まっている会員名簿第三十九号の発行が予定されている。

会員名簿第39号(平成20年度版)の発行計画について

昭和六十二年名簿委員会によって同窓会事務局にコンピュータが導入され、同窓会会員データベースの構築が始まった。同窓会自身が会員のデータをコンピュータで管理して、会の運営に役立たせようとする新しい考え方のスタートであった。その会員データベースの初めての利用が、会員名簿の作成だった。平成元年三月に発行された会員名簿第三十五号である。これは、正確には、「昭和六十三年度版」であり、昭和六十三年に母校は創立百十五周年を迎えたので「創立百十五周年版」でもある。しかし、発行が予定よりほぼ半年遅れとなった上、昭和六十四年に入って間もなく、年号が平成と変わったため、背表紙には「平成元年版」と書いてある。

最新の版であることを強調したい事務局の配慮があったためである。

しかし、この時点では、データベースのデータ作成用のコンピュータは同窓会事務局にあって、そこでデータの蓄積や更新がすこしずつ行われていたが、更新データは常に、安全のためデータベース管理用のコンピュータに送られていた。つまり、業者に管理を委託契約をしていたもの

登録状況の現状 発行名簿の内容

平成十九年九月三十日現在、会員データベースへの登録状況は次のとおりである。卒業総数、三五、七五一名、逝去者数七、一七一名、現会員数二八、五八〇名(内海外一四七名)、住所判明者二〇、六一二名。住所判明率は七一・二パーセントである。

名簿第三十九号(平成二十年版)は、B5版(縦型)九二〇ページ(予定)で発行される。項目別にあげると、同窓会長あいさつ、学校長あいさつ、校歌・校友会歌の楽譜と歌詞、

であった。平成五年発行の第三十六号、平成十年発行の第三十七号は、第三十五号と同様、名簿作成のためのデータは、同窓会の外部の業者のコンピュータで管理されているデータベースから出されたものであった。

創立百三十年を迎えた平成十五年発行の会員名簿第三十八号は、完全に会員データベースの管理が、同窓会事務局にある管理コンピュータに移ってからの、はじめての名簿であった。もちろん、現在、会員への諸連絡には、同窓会事務局にある、管理コンピュ

現校舎・懐かしの旧校舎写真、秋田高校沿革史、歴代同窓会長、同窓会規約、役員名簿、歴代学校長、旧職員・現職員名簿、会員名簿(全日制、定時制、通信制)、広告ページ、総索引、県別索引付きで、代金前納予約限定販売で、予約頒価三、八八〇円(送料込み)である。第三十八号より本体

「会員名簿データ確認カード」は本紙に同封されデータベースにある全会員に対して送付された。「会員名簿デー

タ内の会員データベースが、同窓会だより送付や、会費管理、各年次からの要望対応、名簿制作など、あらゆる面で有効に利用されている。名簿委員会が当初めざしてきた会員データベースがここ数年でようやく花が開いた感がある。

今年度は、データ入力用のコンピュータの整備、OSもマインクロソフト・XPからピスタへのバージョンアップ、名簿データベース管理システム・ソフトのバージョンアップなどが行われ、万全を期している。

価格で六二〇円値下げ、購入希望の場合は、送付された郵便局用の払込用紙(払いこみ手数料二二〇円は各自の負担)を使用することになっている。その場合、申込み締めきりは、平成二十年四月三十日(郵便局受付)となっていて、名簿の発送は平成二十年九月下旬の予定である。

「同窓会における個人情報取扱規定」を遵守するため、これまでのデータ確認カードとは違ったものにした。それは、名簿掲載不可の項目には、該

返送のない場合 掲載許諾の扱い

「会員名簿データ確認カード」は本紙に同封されデータベースにある全会員に対して送付された。「会員名簿デー

当欄の□に×印をつけてもらうものである。レ印や○印は、空欄と同じく名簿に掲載されることになるので注意を要する。訂正事項は、赤で余白に書いて欲しい。訂正、名簿掲載不可の項目がある場合は、同封の返信封筒にデータカードを入れて、平成二十年四月三十日(事務局必着)まで返送のこと、返送がない場合は全項目の掲載を許諾したものととして取扱われることになっている。訂正、名簿掲載不可の項目がある場合には、ぜひ「会員名簿データ確認カード」の返送をお願いしたい。



代表取締役会長

三浦 廣巳

(昭和44年卒)

秋田日産自動車株式会社

秋田市八橋谿沼町 1-59 〒010-0964
TEL 018-863-2333(代)



SUGAYO

株式会社菅与組

取締役社長
菅原 三朗
(昭和25年卒)

常務取締役
菅原 孝次郎
(昭和44年卒)

本社
〒018-1402 秋田県湯上市昭和乱橋字下畑50番地
TEL 018-877-4117(代) FAX 018-877-2454

つとどい

祝！天上はるかに50年

「秋高32会」総会

九月十四日メトロポリタンホテルアキタで、辻同窓会会長、柴田現校長、恩師畑澤先生、青山先生を招き、六十四名が参加して、「秋高32会」の平成十九年度総会が開催された。

卒業以来五十年振りに初参加の方も多く、駅前周辺母校の跡地の変貌に、ただ唖然としたと云う話題で騒然とした状況を醸し出していた。物故者に対する黙祷に始ま



り、武藤会長挨拶、事務局経過報告、来年以降もこの会は継続することを決定し、記念写真撮影、懇親会は硬式野球



20名連れ立ち 山中湖への旅 S 32年卒、J E E P 会

「高校三年生」を元気に熱唱するのは五十一年前の高校三年生!!二十名。

所は山中湖畔、日本青年館(ホテル清溪)。我々三年A組

部キャプテン男鹿谷和美さんの乾杯の発声で、大宴会が開始された。皆さん益々元気で、駅前校舎の思い出、そしてクラスメイト消息、先生の授業の逸話 etc、本当に五十年前にタイムスリップしたかのような楽しく、賑やかな雰囲気でした。

の担任はJEEPこと加藤仁美先生。JEEP会と名づけられたクラス会は、ほとんど毎年、行なわれています。今回は東京在住者が中心となり山中湖一泊の旅となりました。

秋田から七名(内女性三名)大阪から一名、関東地区は十二名(内女性三名)計二十名が参加。好天に恵まれ、紅葉しはじめた窓外の景色を堪能しつつ秋田弁飛び交う車中、「健康は食にあり」との旺盛な食事、何歳になっても新しい発見と好奇心全開の楽しい集いとなりました。一人一人聞けば「：の手術した」「：の大病した」「今服薬中」「不調で参加出来ない」等々ありますが、高校生という多感な時代を共有した私達は、このJEEP会を核にこれからも元気に集い合い、しゃべり合い、笑い合い、介護保険は払



秋田中学204同期会

中締めとして、佐々木副会長が二次会もあります。ここで全員で「天上はるかに」秋田県立秋田高校 校歌！大合唱
手形山の校舎に届けとばかり楽しく歌い、そのままセカンドステージへとなだれ込みました。(国安志郎・記)

来年は京都へ!!
(文責・今野瑠子)

<p>ゆたかな人間環境の創造</p>  <p>株式会社 コスモス設計 代表取締役 石井 資 就 (昭和44年卒)</p> <p>秋田市川尻町大川反233-49 ☎018-824-0048</p>	 <p>りんがい食品</p> <p>理事長 矢吹 達夫 (昭和44年卒)</p> <p>〒011-0911 秋田市飯島字砂田105-3 Tel 018-845-4875 Fax 018-846-0197</p>	 <p>人のそばに、夢のそばに。 山2環境機材株式会社</p> <p>代表取締役社長 西村 春夫 (昭和36年卒) 専務取締役 佐々木茂男 (昭和44年卒)</p> <p>〒010-0816 秋田市泉字登木207-1 TEL 018-866-7200 営業所/秋田・横手・大仙 ・由利本荘・能代・大館</p>	<p>桃雲堂 高橋 医院</p> <p>高橋 昭博 (昭和44年卒)</p> <p>横手市増田町増田字本町49-1 電 話 0182-45-2363</p>
---	---	--	--

友よ、老いて佳し されど、老けてはならぬ

昭和21・22卒 首都圏「秋中14日会」

旧制秋田中学、秋中14日会が。これは、故小林宏君のあとを受け、和田明君という抜群のコーディネーターなしでは、再会をかさねるたのしさが醗酵するわけがない。

同会は、もともと首都圏に在住する県立秋田中学（現・秋田高校）の昭和二十一年卒と昭和二十二年卒の同期のつどいで、これまで、毎年一月十四日に再会しようと誓いあつて別れ、歳月を重ねた七十六歳。

当然ながら、一足さきに黄泉に旅いそぐ同期の桜に鎮魂



37会、45周年記念総会



を捧げるが、一方、瀬戸内は呉市より半世紀余の歳月の空白を一気に埋めて馳せ参ずる級友、毎年、静岡県

藤原君が秋銀頭取 吉村君が秋大学長に

我が昭和三十七年卒同期生の卒業四十五周年記念総会が、十一月十日（土）、十一日（日）の両日、大潟村「ホテルサンルーラル大潟」において開催された。出席者は高橋壽一先生以下三十七名。総会の司会は佐藤忠次君。役員改選では新会長に寺田俊

は藤枝市より、はたまた首都圏なみに欠席のためしなしという仙台からの元気印の仲間、そして、ときには、母校の地元・秋田より連れだつて加勢に駆けつけるなつかしき旧友たち。

これら同期の仲間が気安くつどえる会場。新宿はハイアットホテル社長の席に長きことありし、同期の加藤三朋君の変らぬ特別のご高配によるもの。

まさに、なつかしく、おいしく、うれしく、ありがたき「秋中14日会」であった。別れは、いつも、この人、クラシックの指揮者が、たちまち応援団長に変身する佐藤菊夫君の母校の愛唱歌のメドレーとなる。友よ、老いて佳し、

新加賀支部長に 札幌支部総会

十月十三日（土）ホテルノースステイ（札幌市）にお



されど、老けてはならぬ。夢とロマンは無税なり。（筆者は、本年当番の築山小学校グ

行している同期会機関誌「紅顔日に日に」は第七号を数えることとなったが、編集長熊谷邦夫君の奮闘により、八十頁のオールカラー版として総会に間に合わせて発行。出席者から大好評であった。なお、藤原清悦君が秋田銀行頭取に、吉村昇君が秋田大学学長に就任したことはまことに喜ばしく心から健闘を祈る。

（37会事務局、関徹彌・記）

ループ・照井敏雄君、那小屋豊君と小生三人を代表して、加藤日出男・記す）
いて札幌支部総会が開催された。本部・母校から辻会長、柴田学校長、仙波事務局長を来賓としてお迎えし、総勢三十八名と盛会であった。

播磨屋敏生支部長（昭和三十五卒）の挨拶、事業報告や予算承認の後、役員改選が行われた。三期九年と長きに渡り支部長の要職を務められた播磨屋支部長より、新支部長として加賀屋誠一氏（昭和四十一卒）が推薦され、満場一致で承認された。他の役員・幹事は三名が新任、十名が再任となった。

辻会長のご祝辞の後、柴田学校長からは進学状況やクラブ活動など母校の近況についてお話があり、先に開催された「二〇〇七秋田わか杉国体」での秋高生の活躍ぶりが紹介され、参加者一同秋田へと思いを馳せた。中川重刀氏（昭和十九卒）のご発声で乾杯祝宴は終始和やかな雰囲気で行われ、最後は校歌と「フレ！フレ！秋高」のエンルが会場内に高らかに響いた。

（昭和61年卒・佐々木宏志）

つどい

つどい

現三役の再任を承認

近畿支部 総会 部歌など映写し合唱

秋田高校同窓会近畿支部の平成十九年度総会および懇親会が平成十九年十一月十日(土)大阪梅田の「大阪弥生会館」で開催された。

当日は会員、来賓合わせて約四十名が出席、母校から安藤教頭のご出席を頂き盛況であった。

総会では、宇佐見支部長(昭三十三年卒)の開会の挨拶、活動報告、会計報告、役員任期に関する規約改訂の審議(本部の役員任期に合わせ三年とする)等の後、任期満了に伴う役員改選が行われ、現三役再任が承認され終了した。



次いで、福田豊史氏(昭四十二年卒)が「腎不全治療の三十年」と題し、講演。記念撮影の後懇親会に移り、秋商、秋工、本荘、五城目、

由利各高校の同窓会代表の方々のご紹介、安藤教頭の母校の近況についてのご報告の後、出席者最長老である富永知一氏(昭十一年卒)の乾杯の音頭で開宴。途中、プロジェクトにより、応援団歌、凱歌、数々の部歌の歌詞を映写

しての合唱等盛り上がりを見せ、最後に全員で校歌を斉唱、次回の再会を約して散会となった。なお総会の開催日を、毎年十一月の第二土曜日と定めておりますので近畿地区の会員の出席方お願いします。(幹事長・鈴木信・記)



高橋貞子先生が授業?

42年卒、東京同期会

昭和四十二年卒東京同期会は、十一月三日に東京グリーンパレスで三十三人参加し開かれた。秋田からも二名が駆けつけた。

今回は恩師の高橋貞子先生を招き、講演(授業?)をしていただいた。タイトルは「エドワード・サビアに関する小ノート」。二次会とも大いに盛り上がった。(高橋和正)

橋本五郎氏 招き講演会

十一月十日、水戸京成ホテルで十六回目の茨城秋高会総会・講演会を開催した。

本部から山谷副会長、仙波事務局長、知道会(水戸一高

同窓会)からのご出席をいただき、二十四名が出席した。

総会では、本部から母校の近況などの報告があった。

総会後に毎回講演会を開催しているが、今回は読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏(昭四十年卒)による「昨今の政治・経済情勢」と題し、

ジャーナリストから見た時局

の講演をしていただいた。

続いての懇親会は、秋田の蔵元から直送の生貯蔵酒で乾盃が始まり、在学時の思い出話が続出するなか、先輩後輩の区別なく和気藹々、親睦を深めることができた。

二次会は、市内繁華街へ繰り出し盛り上がった。(高橋克己・昭38年卒・記)

<p>業正不老庵</p> <p>店主 松由俊次 (昭和34年卒)</p> <p>秋田市広面字蓮沼21番地1号 TEL 018(887)3838 FAX 018(887)3839</p>	<p>(有)堀井経理研究所 堀井会計事務所</p> <p>公認会計士・税理士 堀井 照重 (昭和34年卒)</p> <p>〒010-0951 秋田市山王一丁目3番32号 TEL 018-864-1522(代)</p>	<p>豊口法律事務所</p> <p>弁護士 豊口 祐一 (昭和34年卒)</p> <p>〒010-0943 秋田市川尻御休町1番17号 TEL 018-864-6228 FAX 018-823-2576</p>	<p>紙の専門店 那波紙店</p> <p>那波 伊四郎 (昭和34年卒) 那波 信太郎 (平成3年卒)</p> <p>秋田市大町四丁目3-35 (茶町通り) ☎ 018-823-4311(代)</p>
---	---	---	---

つどい

総会に先立ち昨年の秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された男鹿市夏井純浩君の慶祝を披露、続いて物故者四名に黙祷を捧げた。

懇親会では、関東地区代表の宗方氏が近況報告。中間にアトラクションとして会員の奥田氏が日常経験での我が家

夏井君が叙勲 物故者は4名 昭和26年次同期会総会

十月十九日、昭和二十六年次同期会総会と懇親会を協働大町ビルで、恩師寺田光和先生並びに関東代表、幹事長の宗方素氏、県外からは奈良毅氏、宇佐美孝雄氏を迎え開催した。



(夜)の出来事(葉の誤用とお酒)と題した話を披露。やがて大円を迎え、母校の校歌を全員が大きな輪となり大合唱し再会を約し閉会の乾杯となった。

渡辺君の音頭で校歌斉唱

昭和26年卒同期会関東地区会



六月四日(月)「土風炉」神田店において、二十六名出席のもと開催した。冒頭この一年間に物故された六名へ黙祷により弔意を表した後、幹事長宗方素君の挨拶、秋田から参加の藤原哲君による秋田近況紹介と続き、懇談に入った。

物故者多く 出席は16人 昭和19年同期会

昭和19年同期会

八月二十三日に秋田市の平安閣で開催された。始めに物故者を偲んで黙祷。例年伴奏の永井会員が他界したため、今年は、同窓会から借用のCDの伴奏であった。辻会長の挨拶と学校の近況報告があり、今年春の叙勲で栄



誉を受けた伊藤晴康君の発声で乾杯。一年ぶりの再会を喜び合った。物故者が多く、今年の出席は、十六人とこれまでで最も少なく、一寸寂しい会であった。それでも、出席者は意気軒昂、懐かしい昔を語り合い、いつまでも元気で、この会を続けようと誓い合った。最後に、例年どおり「天上はるかに」を合唱して解散。二時間を越える盛宴であった。

(小林・記)



来年はOBと 対抗戦を計画 バレー部OB会

バレー部OB会

八月八日、秋田市のイヤタカでバレー部OB会が、三十名出席して開かれた。OB会の佐々木会長が「し

「つどい」の編集方針について (お知らせとお願い)

- 一、「つどい」の記事は写真を中心に、説明文はなるべく短くして下さい。
- 二、説明文や出席者名簿などの取り扱い、編集委員会(広報委員)にお任せ下さい。
- 三、締切に間に合った原稿はできるだけ全部掲載するように努めますが、「つどい」の寄稿は毎回数が多く、編集の都合上次回に回すこともあり、夏月号は六月上旬、新年号は十一月下旬となっております。

「つどい」の編集方針について (お知らせとお願い) 続き

つかり学んで、地域のために貢献できる力を身につけてもらいたい」と挨拶。

昭和三十年卒の中村先輩からは、中央地区五連覇の資料を基にしたお話など、出席者全員が近況を含めたテーブルスピーチを行った。

来年は、お盆期間中の開催とし、OBとの対抗戦を実施する方向で進める予定でいる。

新春随想

私は昭和四十七年卒ですから、制服着装自由化の時の三年生にあたります。当時の学生は熱い息吹を今でも思い出します。一年生の四月、隣の席のI君にこう問われたことがあります。「君は今の日本、平和だと思うか?」。西洋音楽しか頭にな

ほの見た「精神の自由」

いと云ったところで、まったく説得力はないのですが、卒業して三十六年、やっぱり熱き彼らが今でも思い出されま

ちろん趣味としてです。それでも「ダースコちんどん隊」という「屋号」で年五十から六十の現場をこなしておりま

らなのですが、今ではちんどん(あるいはちんどん屋そのものの)魅力の虜になっています。

高かった。吹奏楽のうまい秋高に入れたし音楽の個人レッスン先も見つかったし、私は迷うことなく「んー、平和だと思っよ」と答えました。

安田典夫 (昭和47年卒)
(岩見三内中教諭、潟上市在住)

I君はチツと舌打ちをし、以来私にまともな話しかけることはありませんでした。当時の私にとっては、制服の自由よりもドレミファの自由すなわち調性からの解放が第一の関心事。ドビュッシーの真似事なんかをし、一人悦に入っているような状態だったのです。

50歳すぎから「ちんどん屋」



ちんどんを始めたのはまったく音楽的理由から

いままでもした。おそらく本業を退職すればそのままちんどん屋に突入、ということになるでしょう。

この原稿の前半と後半は何か関連があるのかな?とお思いでしょうが、残念ながら関係なかさうです。本当は、何か結びつくものがあるのかなーと書き始めたのですが、やっぱり何もありませんでした。単に「思い出」と「現状」ということになっ

てしまいました。でも、何となく見えていたのが「精神の自由」。うん、なかなかうまく書けませんでした(謝)。

ユーアイビルサービス

代表取締役 **小畑 悟**
(昭和34年卒)

秋田市山王三丁目1番7号
TEL 018-823-1251(代)
FAX 018-867-1121

高木内科胃腸科医院

高木 絃一
(昭和34年卒)

〒011-0936
秋田市將軍野南四丁目6番20号
TEL 018-845-1118

秋高創立120周年モニュメント
「風の舞」生徒昇降口設置
アトリオン広場、秋田県立美術館
その他にモニュメント設置

日本美術家連盟会員
彫刻家 **遠藤 洪平六**
(昭和34年卒)

アトリエ 〒198-0036
東京都青梅市河辺町3の1089
TEL・FAX 0428-24-8386

人のそばに、夢のそばに。
Yamani
株式会社 山二

代表取締役社長 **西村 紀一郎**
(昭和34年卒)

秋田市中通二丁目5番20号 〒010-0001
TEL 018-833-6611代表
FAX 018-833-6619

中国の高校生「羽城館」訪問

人は親切、風景はきれい



同窓会館展示資料室にて

「日中二十一世紀交流事業」で中国から来日している高校生のうち、秋田を訪問した一行が十一月十六日（金）同窓会館「羽城館」を見学した。

政府が実施する「二十一世紀東アジア青少年大交流計画」の一環である「日中二十一世紀交流事業」の第六陣として来日した高校生三百五十名。十一月十三日（金）に日本に着き、三グループに別

て日本各地を訪問しているのだが、秋田県を訪れたのはそのうちの重慶、遼寧省出身者で引率者を含む二十三名。その中の十六名（男子二、女子十四）の高校生が秋田高校を訪ねた。引率の先生一名と通訳一名も同行していた。

前日十一月十五日（木）、高校生たちは秋田高校の歓迎会に望んだ。秋高生の吹奏楽や武道演舞等の他に訪日団生徒の出し物等もあったイベントの後、授業参観や放送委員会取材、部活動等の見学など

をして交流を深めた高校生たちは、すっかり打ち解けた様子で、十六日午前八時三十分羽城館に入った。

羽城館では柴田義弘校長（昭四十一卒）の写真展「彩時季」が開催されており、写真に映し出された秋田の四季折々の風景を興味深そうに鑑賞していた。

一行の一人、一年生の女子高校生に話を伺った。「日本でもっとも印象深かったのは人と風景。風景が大変きれいで、人もとても親切なのが心に残った・・・。中国にも同窓会はあり、先輩たちはいろんな催し物をし

てくれる・・・。今一番興味のあるのは日本語。またホームステイ先の家族の人たちともっと一緒にいたい。別れたくない。頑張つて勉強して中国の文化を紹介したり、交流をしていきたい。」

若い感受性で若者たちが草の根の交流することは相互理解のための第一歩だと感じさせられた言葉だった。羽城館を見学した高校生たちは教職員や、秋田高校に留学中の唐さん、ホームステイ受け入れ先の生徒たちの見送りを受け、名残惜しそうにバスで次の予定地に向かった。

「ステイ先」もつと居たい



部長 柳原弘幸

囲碁部

全国高校囲碁選手権大会

笑うだろう。部員は三名、部活も週一回できるかどうか、残念ながら活動的とは言えず秋の新人大会ではそれを証明するかの様に成績は振るわなかった。

しかし、部活単位での活動ができないからといって全く活動していないわけではない。部員一人一人が個人で棋譜並べや定石研究、ネット碁・碁会所にて対局を行うなどで棋力の向上に

全国の壁は厚かった 部員三人で県大会制覇

をやるなど

破はおろか一勝すら許さなかった。この大会で強く感じたことは自分達の技量は県内では通用しても全国では太刀打ちできないということだった。これを踏まえ、来年度の目

標は県団体優勝・全国での一勝である。この目標は現在の部活の状況を知る人が聞けば

努めている。但しどんな競技でも当然努力しているのは自分だけでは

く相手も同じであり、また勝敗は運に左右されることもしばしばあり成果を収めるには困難が予想される。それでも自分たちの努力の成果を信じ取って前記の目標を掲げるのである。さらに自分たちの代で部員数が0になるという悲劇を生み出さない様、新人部員の確保をある意味何よりも優先すべき課題として、早急に解決へ導きたい。

最後になりましたが、同窓会諸氏の今までのご支援に感謝すると同時に、これからどうなるかわからない囲碁部ですが、以後も変わらぬご支援をよろしく願います。

囲碁部の近況は昨年度の三年二名・一年二名計四名と部員数が少ない中で引退・引継ぎが行われ、本年度初めは部員二名のみとなり部活としての活動も困難を極めた。

また夏の全県大会団体戦への出場も危ぶまれていたが、二年生一名が新たに加入し、ぎりぎりながら無事に出場。団体は秋田・大館鳳鳴・男鹿工業の計三校で争い、決勝戦大館鳳鳴に二―一で勝利し、優勝することが出来た。

そして東京都千代田区日本棋院本院にて行われた全国大会へ出場した。しかし全国の壁は高く、秋高勢には予選突

8 競技に13名が出場

九月二十九日〜十月九日まで行われた「秋田わか杉国体」は、本県が天皇杯、皇后杯とも獲得という素晴らしい成果を収め、大成功の下に閉幕しました。本校からも八競技に十三名の選手が参加し、ハイレベルな試合を展開しました。

わか杉国体に参加して

〔ゴルフ〕

少年男子団体 2―E西館俊介 10位
少年男子個人 11位
地元開催でプレッシャーを感じることもあったが、周りの方々の応援が励みになりました。本当にありがとうございました。これまで同様、応援を宜しくお願いします。

〔馬術〕

1―F佐藤有里子
今国体では、今までにない程長い時間を馬と過ごしました。全国の選手の活躍を間近で目にし、自分も精一杯やりました。愛馬に感謝です。

〔ラグビー〕

3―A齊藤寛人
3―B江畑佳洋
3―B小野稜太
3―G金谷裕貴
3―H郡司裕介

少年 準優勝

一年の頃からオール秋田を結成し、秋高から五人のメンバーが入り、全員レギュラー入りした。結果も準優勝という結果を残し、良い思い出になりました。

〔卓球〕

少年男子 3―A松測健一
一次リーグ Gグループ

第3位

地元秋田の選手として出場させていただけたことに感謝しています。皆さんの応援のおかげで最高のプレーをすることができました。ありがとうございました。

〔テニス〕

2―C佐々木啓
少年男子 一回戦 秋田0―2奈良
多くの県民の皆さんのご声援とテニスを通しての皆さんの出会い、また、家族の協力に感謝の仕様がありません。本当にありがとうございました。

〔陸上競技〕

1―B田口大貴
1―E佐渡夏紀
少B3000m 6位
田口 大貴

少B走幅跳

佐渡 夏紀 13位
地元開催の国体で秋田県の天皇杯獲得に貢献できたことを嬉しく思います。一生忘れられない素晴らしい大会でした。

〔フェンシング〕

3―A面山 結
少年女子フルール

部活動戦績

一回戦 第2プール 3位
地元秋田の国体に出場できたこと、それに向かって努力した多くの練習や合宿の思い出は、一生の宝物です。
〔柔道〕 3―B斎藤雄仁
少年男子

一回戦 秋田2―2京都 (京都の内容勝ち)
武道館が揺れるほどの大歓声の中、わか杉国体という大舞台で柔道ができて幸せだった。この経験をいかしてまた頑張りたい。

◇ラグビー

全国大会県予選
2 秋田60―0秋田南
準決勝 秋田17―35秋田工
全県新人 4位
1 秋田34―0大館鳳鳴
2 秋田5―29秋田工
3 位決定戦 秋田12―25男鹿工

◇陸上競技

中央支部新人
男子 200m 佐渡 夏紀 1位
1500m 田口 大貴 2位
5000m 田口 大貴 2位
110mH 田口 大貴 2位
高橋 智貴 2位
400mH 千葉 俊介 2位
3000msc 尾形 翔平 1位
1600mR 佐藤、千葉、佐渡、藤井 3位
棒高跳 船木 大資 2位
走幅跳 佐渡 夏紀 1位

砲丸投 藤井 翼 3位
八種競技 藤井 翼 2位
男子総合 男子トラック総合 1位
男子フィールド総合 2位
男子混成総合 2位
女子 800m 志渡 茜 1位
3000m 佐藤 彩佳 1位
3000m 畠山菜津実 2位
3000m 鎌田えりか 3位
砲丸投 鎌田 優子 1位
全県駅伝競走大会 男子 8位
女子 8位
全県新人 男子 100m 藤澤 健斗 6位
1500m 田口 大貴 2位
5000m 田口 大貴 2位
400mH 田口 大貴 5位
千葉 俊介 8位
3000msc

尾形 翔平 4位 (東北出場)
400mR 畠山、佐渡、高橋、藤井 4位 (東北出場)
棒高跳 船木 大資 6位 (東北出場)
八種競技 藤井 翼 2位 (東北出場)
男子トラック総合 6位
男子混成総合 2位
女子 1500m 佐藤 彩佳 8位

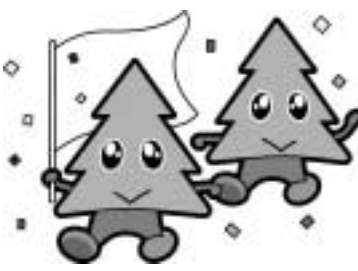
◇バスケットボール

全県選抜 2 秋田66―44能代
準々決勝 秋田64―82湯沢商工
中央支部新人
男子予選リーグ 国学館
○秋田 84―71 由利
○秋田 139―42 秋田西
男子決勝トーナメント出場決定戦 秋田 70―76 秋田工
女子予選リーグ 明桜
秋田 33―114 明桜
○秋田 64―60 聖霊
決勝トーナメント出場決定戦 秋田 42―55 秋田商

◇バレーボール

中央支部新人
男子予選 新屋
秋田 2―0 秋田西
秋田 2―0 明桜
男子決勝リーグ 第3位
秋田 2―1 秋田工
秋田 0―2 秋田南
秋田 0―2 秋田南

<p>◆卓球</p> <p>中央支部新人 男子団体 決勝リーグ 秋田 3-1 秋田工 秋田 3-1 由利工 秋田 0-3 秋田商 男子ダブルス 伊藤・菊地組 第2位 男子シングルス 菊地 達八 第2位 伊藤 伸治 第3位</p> <p>全県新人 男子団体 決勝リーグ 秋田 3-1 大曲工 秋田 3-0 大曲 秋田 0-3 秋田商 男子シングルス 菊地 達八 第2位</p> <p>◆バドミントン</p> <p>中央支部新人 男子団体 秋田 2-3 由利工 個人シングルス 1部 須藤 嶺 3位 女子団体 秋田 2-3 秋田西 ダブルス 2部 清水・加賀谷組 3位</p> <p>全県新人 男子団体 1回戦 秋田2-3 由利工 個人シングルス 1部 須藤 嶺 3位 女子団体 1回戦 秋田2-3 能代西 個人シングルス 2部 清水雪花 ベスト8</p> <p>◆ソフトテニス</p> <p>中央支部新人 男子団体 3位</p>	<p>2回戦 秋田3-0 仁賀保 準々決勝 秋田2-0 本 荘 準決勝 秋田1-2 秋田中央 3位決定 秋田2-0 秋田西 男子個人 金丸 岳・佐々木秀組 2位 牧野恒平・渡邊友彦組 3位</p> <p>全県新人 男子団体 1回戦 秋田2-1 能 代 2回戦 (全県インドア大会出場権獲得) 秋田0-2 大 曲</p> <p>◆テニス</p> <p>中央支部新人 男子個人 シングルス 伊藤 紘成 2位 佐京 允友 ベスト8 渡部 匠 ベスト8 ダブルス 伊藤紘成・渡部匠組 2位</p> <p>女子個人 シングルス 佐々木有希 3位 ダブルス 佐々木有希・佐々木美緒組 ベスト8</p> <p>全県新人 男子団体 4位 男子シングルス 伊藤紘成 優勝 女子団体 3位 女子シングルス 佐々木有希 3位</p> <p>◆サッカー</p> <p>全国大会県予選 第3位 1回戦 秋田3-1 増 田 2回戦 秋田1-1 由利工 準々決勝 秋田3-1 能 代 準決勝 秋田0-3 新 屋</p>	<p>中央支部新人 予選リーグ 秋田0-1 西 目 3位 秋田2-0 仁賀保 秋田0-0 新 屋</p> <p>◆山岳</p> <p>全県新人 男子 団体総合 第2位 個人総合 三浦 雅孝 第1位 男子部門別 天気図部門 第1位 三浦 雅孝 第1位 西村 脩平 第3位 読図部門 大坂 隼平 第3位 知識部門 大坂 隼平 第2位 西村 脩平 第3位 女子 個人総合 第2位 渡部実唯子 第2位 部門別 知識部門 第1位 渡部実唯子 第1位 クライミング 渡部実唯子 第1位</p> <p>◆弓道</p> <p>全県新人 男子個人 第5位 金田浩輔 中央支部新人 男子団体 3位 予選リーグBブロック 1位 (3勝)</p> <p>◆剣道</p> <p>秋田5-0 由 利 秋田4-1 秋田工 秋田2-0 秋田中央 決勝リーグ 3位 (2敗) 秋田0-0 秋田南○</p>	<p>秋田0-3 秋田商○ (代決) 男子個人 伊藤陸・足利陸 ベスト8 全県新人 男子団体 3位 予選リーグBブロック 1位 (2勝)</p> <p>◆柔道</p> <p>中央支部新人 男子団体 1回戦 秋田 3人残し 新 屋 2回戦 秋田 4人残し○秋田中央 敗者復活戦 秋田 2人残し○明 桜 男子個人 90kg級 今野啓祐 2位 100kg超級 小林大悟 3位 66kg級 近藤 俊 3位</p> <p>全県新人 男子団体 秋田 4人残し○横 手 男子個人 66kg級 近藤 俊 3位 90kg級 今野啓祐 3位</p> <p>◆漕艇</p> <p>全県新人 シングルスカル 渡辺 孝 3位 ダブルスカル 三浦健人・鈴木広大 3位</p>	<p>全県新人 男子1500m自由形 1位 猿田 陽平 同400m自由形 2位 猿田 陽平 同200m自由形 3位 安田 瑛紀 同100m自由形 2位 安田 瑛紀 女子200m平泳ぎ 3位 梶田 真由 同100m平泳ぎ 4位 同200m平泳ぎ 4位 浅村 朱梨 (1500m以外6種目で東北大会へ)</p> <p>◆硬式野球</p> <p>秋季中央地区高等学校野球大会 2回戦 秋田7-0 男鹿海洋 準々決勝 秋田2-5 秋田南 秋季全県高等学校野球大会 1回戦 秋田7-2 大 曲 2回戦 秋田3-5 鷹巣農林</p> <p>◆軟式野球</p> <p>秋季県大会 1回戦 秋田2-0 本 荘 準決勝 秋田2-5 能代工</p>
--	--	--	---	--



会 務 事 項 報 告

- 19年 通常総会
- 8・19 宇都宮支部総会
- 9・3 昭和三十三年卒業
- 9・14 五十周年記念同期会
- 10・3 企画委員会
- 10・9 東肥羽城会
- 10・10 財政委員会
- 10・13 札幌支部総会
- 10・18 名簿委員会
- 10・20 西仙北支部総会
- 10・26 当番年次会議
- 10・29 広報委員会
- 11・8 横手支部総会
- 11・10 近畿支部総会
- 11・12 茨城秋高会総会
- 11・16 役員会
- 11・17 汀友会総会
- 11・17 男鹿支部総会
- 12・3 理事会

事 務 局 だ よ り

20年
1・15 「同窓会だより」
八十二号発行

●今年度の会費納入は会員の皆様のご協力により、目標額まで後一息といった所です。今年度分の会費未納の方には、再度「払込取扱票」を同封しました。どうかご協力をお願いします。

寄 贈 図 書

- 『秋田文学』(16号) 柴山 芳隆 (昭36卒)
- 『秋高三十九会』(12・13号) 赤沼 侃 (昭39卒)
- 『紅顔日に日に』 秋高昭和37年卒同期会 卒業45周年記念誌
- 『獨楽庵切抜帖』(全5篇) 富野巳代治 (昭7卒)
- 『三Gかわらばん』(第8号) 秋高80期・三G
- 『友情』 加藤日出男 (昭21卒)

哀 悼 (敬称略)

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます。

18年	高橋 信光 (昭5)	2月	進藤 健 (昭14)	7月	伊藤 唯史 (平1)	10月	田中 義郎 (昭12)
1月	伊藤 良太 (平16)	2月	柴田 孝雄 (昭28)	7月	後藤 清 (昭36)	10月	高橋 文雄 (昭16)
4月	加賀谷竹次 (昭18)	3月	藤原勝治郎 (昭18)	7月	戸島 更造 (昭17)	10月	今井善一郎 (昭23)
5月	今野 実 (昭41)	3月	米田 勝秀 (昭38)	7月	岩間雄次郎 (昭12)	10月	渡邊 朝子 (昭59)
6月	小林 昭 (昭20⑤)	4月	香川 聖 (昭26)	7月	大友 次男 (昭21)	10月	中野 秀樹 (昭16)
7月	栗山 維吉 (昭23)	4月	吉田 真 (昭28)	7月	佐々木秀男 (昭42)	10月	石山 純 (昭39)
8月	佐々木専悦 (昭28)	4月	八代 真弓 (昭18)	7月	鈴木 啓義 (昭18)	10月	植村 義雄 (昭33)
9月	和田 裕司 (昭23)	5月	平野俊二郎 (昭15)	7月	堀江 仲雄 (昭15)	10月	藤原 尚司 (昭37)
10月	神矢 芳明 (昭27)	5月	武田 泰 (昭40)	7月	加納 政雄 (昭32定)	10月	赤根谷祐吉 (昭15)
12月	和田 静子 (昭30)	6月	高橋 隆司 (昭10)	7月	伊藤 勝雄 (昭39)	10月	小野 静男 (昭11)
19年	鈴木 与作 (昭4)	6月	川村 明 (昭40)	8月	蔭山由紀雄 (昭7)	11月	小川 久 (昭18)
1月	鈴木 保 (昭18)	6月	千葉 真 (昭44)	8月	高田 隆吉 (昭18)	11月	丹 博男 (昭20④)
1月	富樫 六郎 (昭10)	6月	高橋 利清 (昭21定)	8月	長岡八百司 (昭8)	11月	藤原 潔 (昭38)
1月	金森 政司 (昭29定)	6月	坂野 博 (昭16)	8月	小沼 徳治 (昭34)	11月	今井 聰 (昭40)
1月	磯部 雅子 (昭40)	6月	須磨 清治 (昭16)	8月	谷口 正 (昭17)	11月	小西 仁 (昭20④)
1月	渡邊 健二 (昭18)	6月	高橋 弘喜 (昭32)	8月	飛田 文雄 (昭14)	11月	赤川 諭吉 (昭46)
		6月	柳原 昌一 (昭9)	8月	寺口善二郎 (昭30)	11月	照井 清司 (昭36)
		6月	永井 忠俊 (昭25)	8月	坂田 良一 (旧職員)	11月	堀川 義雄 (昭42)
		6月	川口 卓三 (昭30)	8月	荒沢久米男 (昭17)	11月	鈴木 正晴 (昭56)
		6月	伊藤 良男 (昭22)	8月	佐々木昭治 (昭20④)	11月	佐々木宣雄 (昭29)
		6月	伊藤 豊治 (昭17)	8月	下山彰一郎 (昭27)	11月	三浦 治 (昭20④)
		6月		8月	秦 静孝 (昭8)	11月	成田 實 (昭27)

●『同窓会員名簿第三十九号』発行のため、「会員名簿データ確認カード」、「払込取扱票」(青伝)を同封しました。ごめんどうでしょうかが注意事項をお読みの上、対応をお願いします。

●このたび昭和十四年卒同期会の銭谷象二郎様から、同期会会費残額二万七千円を同窓会にご寄付いただきました。同期会としての活動は終りにしたいからとのことでした。昭和十四年卒業の皆様方、ありがとうございます。これからもどうぞお元気にお過ごし下さい。なお、銭谷氏のご子息が文科省事務次官の銭谷眞美氏であることは、みなさんご存知の通り。

●本号12面に登場している安田典夫さんが、このたび今年度全日本チンドンコンクール素人部門で最優秀賞を受賞しました。安田夫妻の「ダースコちんどん隊」は、三年前に続き二度目の栄冠に輝きました。